

さとしゅう

議会だより

No.89

2017.7.31



岡山県 里庄町議会



夏休み満喫中!

- 役場前資源ゴミ収集庫を増設…………… (2)
- マコモタケ事業費は …………… (4)
- 新設道路を町道に認定〈町道229号線の延伸〉(臨時会より) …………… (7)
- 町政を問う! (6人が登壇) …………… (9)
- シリーズ“地域の子どもたち”(殿迫子供会)…………… (16)

定例会

6月補正額は338万円

一般会計42億337万円、全会一致で可決

平成29年度補正予算

一般会計

資源ゴミ回収に

235万円

役場前の駐輪場横に資源ごみ収集庫を追加で設置するものです。これに伴い、資源ごみ収集庫内に設置するコンテナ用台車を購入します。

現状の収集庫では、資源ゴミの持ち込み量が多くて収容しきれず、増設する必要があるとの申し入れがありました。

収集庫設置により、資源ゴミは増加し、可燃ゴミは減少の傾向にあるこ

とから、補正額を認めました。

ジェットシューター購入 18万円

山火事総合対策事業の補助金を利用し、山火事のときに使用する背負式消火水納付手動ポンプ（ジェットシューター）を購入します。



きれいに育て、花いっぱい運動

予算決算委員会

予算審査

予算決算委員会に付託された補正予算2議案を審査するため、6月5日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に行いました。

委員からは、事業費の2分の1が国からの地方創生推進交付金として271万円歳入され、また普通交付税も措置される見込みであるが、残りの部分についても特別交付税措置を強く要請すること。

また、資源ごみの収集

平成29年第3回定例会は、6月5日から9日までの会期で行われました。議案は、平成29年度補正予算2件、町道路線の認定2件、報告4件が上程され、原案通り可決・承認されました。

なお、一般質問は、6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただしました。

資源ゴミ収集庫を増設

資源ゴミの持ち込みが多く、対応するため。



完成した役場前資源ゴミ収集庫

6月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計 (第 1 号)	42億337万円	(338万円)
介護保険特別会計(第1号)	9億8368万円	(18万円)

では、今回補正分を含めると、投資額は500万円になる。その費用に対する効果はどの程度か、今は町職員で管理しているが、委託も考えるべきである。
などの意見及び質疑がありました。

総括質疑

▼マコモ事業費は ▼本当に必要な道路か

委員会へ付託する予算の一般会計補正予算と町道路線の認定に関する質疑を3人が行いました。

※委員会に付託が予定されている質疑は、総括的大網的な質疑にとどめ、詳細は委員会で行うようにすべきであるとされています。〈「議員必携」より〉

一般会計補正予算

マコモ事業費は

仁科英議員

①マコモタ

ケ事業542万円に對する2分の1の地方創生推進交付金の内示があり補正計上している。2月の全員協議会の説明では592万2000円。農林建設課に詳細を聞いたところという。広報さとしよの4月号では575万円と書いてある。この4つの数字。それぞれがどういう考えで、出てきて

いるのか。

②申請はどこが取りまとめているのか。
③交付金が2分の1。残りの特別交付税を含む交付税をなぜ補正しない。
④背負い式消火資機材の購入は、林業振興費ではなく消防費に計上すべき。使う消防で中身を考えていくべきでは。
⑤今回、なぜこの補助金を使って山火事対策を強化するのか。

この補助金の制度は。

2分の1の補助なのか。

農林建設課参事 ①地方

創生推進交付金の申請は事業内容を精査して行なっている。

この推進事業以外のものとして農協の生産者への補助金、地域振興作物補助金、圃場に係る水道料、し尿くみ取り料、農協の給油所跡の賃借料等がある。

予算の表記は、交付金対象の費用、町として全事業で捉えた場合など、状況に応じて明記している。

④県の農林水産部の事業で補助金の趣旨が、山火事による貴重な森林資材が失われないようにとい

うことになっているため。

企画商工課長 ①地方創

生推進交付金10万円削った。これはイベント等に出店するための準備費用で、交付金事業には合わない判断した。

総務課長 ②マコモの事

業は企画商工課と農林建設課が内容を詰めて、交付金は総務課で申請をしている。

③推進交付金が2分の1。残りのうち、半分が普通

交付税と特別交付税で措置される見込み。交付税は不確定要素が高

く今回の補正には計上していない。

④今後、予算計上は研究して対応していく。

⑤今年度、林野火災訓練

を行うが、消防機材の整備が不十分なので、補助金の申請をおこなった。この補助金は適当と認めらるる事業に対して、率ではなく県の全体の予算から配分される。

学力検査は県が実施

高田議員

小・中学校の

学力検査費用の減額は、県が実施するためということ。

当初予算の時には、分かってなかったのか。途中で変わったのか

教育長

詳細について不確定な部分があり、当初予算では例年どおり町費で計上していた。



寺子屋で勉強中

里庄町道路路線認定

本当に必要な道路か

仁科英議員

- ① 県道ができる信号がつくのか。
- ② 県道からは安全に2号線に出られるのか。
- ③ どの程度の交通量を予測しているか。
- ④ 事業費はいくらで、国の補助金があるのか。
- ⑤ 事業化の年度はいつごろになる見込みか。
- ⑥ 本当に必要な道路か。

農林建設課長

① 浜中バイパスへ出るところに

信号はつかない。

② 今の国道2号を右折するよりは簡単に出来る。

③ 浜中バイパスの予測値は、今手元にない。

④ 用地費2100万円。

⑤ 工事費は、まだ積算していない。

補助金があるのかは、検討、研究中。

⑤ 浜中バイパスの供用開始にあわせて、完成させる必要がある。

浜中バイパスの完成年度は、はつきりとは聞いていない。

町長

⑥ この道がなければ浜中北の人は、北も南も出にくい。

仁科会館へ行く場合も非常に便利がいい。

北へ行く場合は、JRの下を通り今立川のここへ出るので、利用価値がある。

ぜひ作らせて欲しい。

バスが通る広さが必要か

佐藤議員

道路幅6m、35・5m、大型バスが通れるぐらいの広さが本当に必要か。

農林建設課長 本線の幅員を約6m、浜中バイパスに接する部分は35・5m。広いと思われるが、交差点の協議で広いつきを求められる。

町道路線の認定

建設福祉委員会に付託された町道路線の認定2議案を審議するため、6月5日に委員会を開催しました。

岩村地区の里見717号線は、3月に信号が設置された交差点付近の安全を確保するもの。この議案に対する質疑はありませんでした。

浜中北地区に新設する浜中145号線は、浜中バイパスへ右折して進入する場合の配慮が必要である。また購入した土地の残地の取扱はどうするのか、などの意見、質疑がありました。



暑い夏。涼しいそうめん流し(大原西分館)



認定路線(町道浜中145号線)



認定路線(町道里見717号線)

質 疑

繰越明許費繰越計算書の報告

◆平成28年度一般会計

なぜ遅れるのか

仁科英議員

狭あい道路

の12月の繰越明許費が、そつくり繰越となつて

農林建設課長 前払い金等を差し引いた金額を繰越している。

災害復旧関連はどうな

里見436号線、里見

◆平成28年度公共下水道事業会計

ほとんどの繰越はなぜ

仁科英議員

①予算計上

額の中には前年度からの

繰越分も入っているのか。

②ほとんど繰り越しにな

った。なぜか。

③支払い義務発生額に前

金払いは入っているか。

上下水道課長 ①平成27

年度の繰越額は、建設事

業費に7560万円入っ

ている。

②新庄地区と里見地区は

精算も終わっている。

推進工法でのトラブル

や道路占用で、少しのず

れはあった。

③前払い分も入っている。

不測の日数とは

佐藤議員

関係機関との

協議で不測の日数とは。

上下水道課長 新庄の県

道部分は、いろいろ企業

があり、日程調整等日数

がかかった。

668号線、新庄159号線はほぼ終わり。岩村の農地災害は工事中、野宮池の完了検査は終わっていない。

津江の水路はこれから工事。

間に合っていない所は急いでやる。

賛 否 表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名			議員名								議決結果	
			高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子		佐藤耕三
臨時会	議案第33号	専決処分の承認を求めることについて	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不承認
	議案第34号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第35号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第36号	里庄町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6月定例会	議案第37号	平成29年度里庄町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第38号	平成29年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	里庄町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	報告第 1号	平成28年度里庄町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第 2号	平成28年度里庄町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第 3号	平成28年度里庄町公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第 4号	里庄町土地開発公社の経営状況の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

臨時会

5月10日に、臨時会が開かれました。

まず、専決処分の承認議案2件が上程されました。このうち、1議案は承認しましたが、1議案は不承認となりました。不承認となった議案は、不備のあった部分を改めて追加上程され、可決されました。

また、町道路線の認定1議案は建設福祉委員会で審議後、可決しました。

次に、議長および副議長の選挙を行なった後、空席となった委員会委員の選出を行ないました。

専決処分の承認

町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴うもので、その主な内容は次のとおりです。

- ・軽自動車税のグリーン化特例について、平成32年度燃費基準の下で見直しを行い、2年間延長
- ・上場株式等に係る配当所得等に係る町民
- ・居住用超高層建築物に係る課税の見直し
- ・被災代替家屋・償却資産に係る特例措置の創設
- ・被災住宅用地に係る特例措置の拡充
- ・企業主導型保育事業、家庭的保育事業等に係る固定資産税の税制上の措置の創設

(不承認→追加上程可決)

国民健康保険税条例の一部改正

均等割と平等割の軽減措置の軽減措置に係る軽減判定所得の算定方法を見直し、低所得者層に対する軽減措置の拡大を図ります。

(全会一致で承認)

町条例の一部改正の専決処分では、専決処分のあり方、このたびの誤りの経緯などの質疑を岡本議員、高田議員、仁科英議員が行いました。

また、町道認定の議案に対しては、認定することのメリットや工事着手から完成までの時期の見込みなどの総括質疑を仁科英議員が行いました。

町道路線の認定

建設福祉委員会に付託された町道路線の認定1議案を審議するため、5月10日の本会議を中断して委員会を開催しました。

町道里見229号線の延伸である里見716号は、現状は水田であり、用地取得もこれからです。

担当課の説明では、今回、町道認定を行うことで区域決定され、収用事業の対象と認められる。その結果、譲渡所得の特別控除が受けられるとのこと。

委員からは東小学校の南東にある信号機付近は、朝夕、交通量が多く、危険であるため、このたび認定を行う新設道路は必要との意見が多数ありました。こうした審議内容を



認定路線(町道里見 716号線)

踏まえて、全会一致で認定しました。

議長あいさつ



里庄町議会議長

平野 敏弘

この度、私たち両名は、5月臨時会におきまして、議長・副議長に選出されました。重職に就き、身に余る光栄であると同時に、その任務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

里庄町の財政は、ここ数年毎年2億円もの基金を取り崩しているという状況が続いております。このような厳しい財政状況にあるなかで、必要な

事業・優先順位が低い事業をしつかりと選別し、町民の皆様のご意見を町政に反映すべく、執行機関との抑制と均衡を図りながら最良の選択に努力いたします。

また、時代に対応した議会運営が求められており、町議会としても議員自ら研鑽を深め、議会改革や活性化に取り組みながら、議会本来の機能強化を図りつつ、開かれた

議会運営に努めて参ります。

これからのまちづくりは、皆様方のご協力が必要不可欠であります。今後とも魅力ある里庄町の実現に向けて議員一丸となり、皆様と共に目指して参りますので、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



里庄町議会副議長

小野 光章

常任委員会

総務文教委員会

- 委員長 岡村咲津紀
- 副委員長 佐藤耕三
- 委員 平野敏弘
- 委員 高田卓司
- 委員 仁科英磨

建設福祉委員会

- ◎委員長 小野光三
- 副委員長 仁科千鶴子
- 委員 岡本雅道
- 委員 眞野博文
- 委員 小野光章

予算決算委員会

- 委員長 眞野博文
- 副委員長 仁科英磨
- 委員 平野敏弘
- 委員 高田卓司
- 委員 岡本雅道
- 委員 岡村咲津紀
- 委員 小野光三
- 委員 小野光章
- 委員 仁科千鶴子
- 委員 佐藤耕三

議会運営委員会

- 委員長 岡本雅道
- 副委員長 岡村咲津紀
- 委員 小野光三
- 委員 眞野博文
- 委員 小野光章

議会広報編集委員会

- ◎委員長 眞野博文
- 副委員長 仁科千鶴子
- 委員 小野光章
- 委員 佐藤耕三

議会改革調査検討特別委員会

- 委員長 高田卓司
- 副委員長 小野光三
- 委員 平野敏弘
- 委員 岡本雅道
- 委員 岡村咲津紀
- 委員 眞野博文
- 委員 仁科英磨
- 委員 小野光章
- 委員 仁科千鶴子
- 委員 佐藤耕三

※◎は変更

一般質問

町政を問う

6人の議員が登壇して質問!

岡村咲津紀 議員..... 10P

- ① 現職町長の進退は
- ② 空き家対策の対応は
- ③ 職員の定年前の早期退職

岡本 雅道 議員..... 11P

- ① 図書館の指定管理者制度導入を
- ② 福祉会館の維持管理は

仁科 英磨 議員..... 12P

- ① 構造的な赤字体質の打開策は
- ② 229号線つばきの丘公園南交差点への信号機の設置について

高田 卓司 議員..... 13P

- ① 役場駐車場の拡張を
- ② 無縁者の供養塔を町営墓地へ移転を

佐藤 耕三 議員..... 14P

- ① 学校教育のありかたは
- ② 利用しやすい歴史資料館に
- ③ 有害獣対策を

仁科千鶴子 議員..... 15P

- ① 空き家対策は
- ② 子育て広場に手洗場を

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

立候補の意思は

町長／まだ決めていない

問

来年1月、町長は任期満了となる。次期選挙に立候補の意思は。

これまでの事業評価は。

町長

まだ決めていない。さまざまなことを考慮しながら、慎重に判断する。
「住みやすさ、優しさが実感できる町・里庄」をスローガンにやってきた。自己評価は65点から70点ぐらいだと思っている。

空き家対策の条例は

総務課長／前向きに検討したい

問

空き家等対策の推進に関する特別措置法により認定した空き家の戸数は、解体撤去や再利用する

総務課長

空き家として上がった件数が258件、その後の聞き取り調査で24件が空き家、空き家でないものが11

ため国は交付金制度があるが、町では除却支援補助金を検討していくのか。
空き家対策事業の問題点や将来の見通しは。
再利用の対策として、空き家バンク制度をどのように考えるか。
管理ができなくなる前の空き家対策として、相談窓口の設置、リフォームして居住可能にすれば、定住促進事業につながるのではないか。
空き家対策の条例の制定は。



岡村咲津紀 議員

5件、作業が終えてないものが119件ある。
個人の財産管理の問題であり、現時点では考えていない。
まず、調査作業を早急に終了させ、空き家対策計画等に移っていききたい。
所有者等の了解を得られる物件が、一定量あれば空き家バンク等設置し利活用を検討したい。
定住促進事業は、先進地の事例を研究しながら、メリット、デメリットを見きわめ検討したい。
実際に空き家対策を行っていき、本町の姿勢や施策の方向性を示す必要があると感じた。条例制定は、前向きに検討していきたい。

問

正規職員の定年前の離職や早期に退職した数は。

人間関係やコミュニケーションのとり方、職場環境の整備、これらの問題を把握しているか。
職員の一人一人のやる気と能力をいかに引き出すのか。
現在、ストレスチェックはどのように行われているのか。

副町長

定年前に辞職した職員は、10年間で15名。

人間関係や、異動後の業務のストレスで体調を崩す職員への対応や、育成は重要な問題である。
人材育成を目的に、各課業務の成果の達成と、個人の能力の向上を図るための目標設定、2番目に業務の進捗状況を確認する中間評価、3番目に目標設定の成果を確認する期末評価を実施している。
職員と課長補佐、課長との面談を行い、お互いが納得性と透明性が得られるように取り組んでいる。

総務課長

心理士によるカウンセリング窓口を月に1回開く計画をしている。自分自身のメンタルヘルスの不調を未然に防ぎ、長期休業がないようにやっていきたい。

職員のやる気と能力は

副町長／人材育成に取り組んでいる

岡本 雅道 議員



図書館の指定管理者導入を

教委事務局長／考えていない

問

全国町村の中で58の町村が図書館の指定管理者制度を適応している。職員の人事を含め全てを業務委託し、身軽になれば財政上にも効果があり、節減できると考える。図書館運営も指定管理をすることで多少でも安くなる。

だから、今の時点で指定管理者制度導入を検討してはどうか。

教委事務局長

指定管理者制度のメリットとして、民間企業の創意工夫を生かし、今よりもっと経費を削減され、お客様に対するサービスも向上できるものと考えている。図書館は、正規職員1名、嘱託職員3名、臨時職員1名の合計5名で運営。人件費や経常経費などの支出額はピーク時の年間約5400万円から年々減少して、本年度予算ベースでは約3700万円。経費節減についても可能な限り実施していく

現状で、指定管理者制度導入を行うことは現在考えていない。

みすばらしい緞帳の交換を

教委事務局長／

見苦しくない程度に縫製修理

問

①福祉会館は築後50年近くなり、町の建物の中で飲食ができるのは福祉会館だけ。成人式後の飲食でも利用する。

ちぎれてぶら下がっている、非常にみすばらしい緞帳の修繕を望む。

②47年も経過した緞帳、針を通すと破れる。色あせもあり交換時期ではないか。

また、昨年町長が答弁した耐震補強工事はいつする予定か。

③「計画的に」であれば、勘案しながらではなく、何年先には工事する、が

計画的なところ。周りの状況を見ながらというのは、いつできるか分からないということか。

④あまりみすばらしい福祉会館ではまずい、考慮して欲しいがどうか。

教委事務局長

①見苦しくない程度に縫製修理などの対応により、既存品を少しでも長く使用できるように考えている。

総務課長

②耐震補強工事は、財政状況を勘案し他の事業とのバランスなども考慮しながら実施したい。

町長

②耐震補強が必要だということを知っていたので「出来ればしたい」と答えた。財政基金を取り崩して事業をしているなかで、2〜3年後には言えない。財政運営が厳しい、節約してやっていきたい。



多くの町民が利用する図書館

国からの受け入れに変え

1500万円節約すべき

町長／国が使っている金を市町村に出せばいい



仁科 英磨 議員

問

- ①平成28年度一般会計の基金減少額、および年度末残高は。
- ②大内町長の11年間では。
- ③構造的な赤字体質の主な要因は。
- ④基金減少額の内訳は。
- ⑤下水道会計で賄うべきもののなに一般会計から繰り出した額は。
- ⑥建設事業は類似団体より7億円少ない。

と危惧する根拠は。
 ③今は国も、世界中で、英語圏だけでも700人予備の人員を確保している。コーディネーターを置けば、交付税がくる。アルティアセントラルからの人も、間があいたことがあったのでは。
 ④こだわる理由が十分でない。タダの方がよい。国から変えるべき。
 ⑤それなら要望すべき。それまでは、今の制度の中でうまくやり、1500万円節約すべきでは。
 ③選ばれた中学生だけが海外や去年は国内だがドイツ・ニerlandにまで行くのは、おかしい、憲法違反だとの声がある。教育の機会均等を定め

た法律は、他にもないか。
 ④結局いい対策もなく、赤字原因も分からない。まず役場に本格的な分析・対策チームをつくり、町民全体で進める体制をつくってはどうか。

総務課長

- ①③・8億円減少し、23・1億円になった。
- ②17年度末の39・7億円から、11年間で16・6億円、年平均1・5億円減少した。
- ③そうは考えていない。
- ④開発基金8・7億円、それ以外7・9億円。
- ⑤この7年間で、6・6億円。
- ⑥社協への補助金351万円の減額など。

教委事務局長

- ②①18年度末に途中退職され、19年度は年間計画を変更した。日本語力が低く困った人もいた。

- ②人材補充に大きな不安
- ③任期満了8名、転職・帰国等5名。7月に辞め9月に来た等が5回。

教育長

- ②④今いい状態だ。続けたい。
- ③この海外派遣が逸脱しているとは考えてない。

町長

- ②④国も税金を使っている。その金を国が市町村へ出せばいい。
- ⑤私の考えを県とか国へ伝えていきたい。

④職員も幹部も常に考えてはいる。
 しかし、必要なものは必要。その結果人口を維持できている。ある程度住みやすいということ。財政的にしつかりしなければ、とは認識。

問

229号線のつばきの丘公園下の交差点は、事故が異常に多い。

3月議会で速度制限の議論があった。私も、あまり遅くすると、追い抜いたりで混乱し、かえって危ないと感じる。
 「50キロで様子を見る」でいいが、もう一つ、やはり信号が欲しい。

信号があると本当に安全。車が走ってないのに渡れなくなる、踏切があるのにといい意見もあるが、車が少ない時は、東西は黄色の点滅、南北は赤の点滅にすればいい。

農林建設課長

山陽線、国道2号との距離が短いため、信号を設置すると、①踏切内に車を取り残された時の列車との衝突や、②赤信号と列車通行の連続で国道2号からの左折車が進めず、国道2号の渋滞が懸念される。信号設置は考えてない。

229号線つばきの丘公園下の交差点に信号の設置を

農林建設課長／考えてない



役場前の駐車場を拡張してはどうか

町長／適地があれば聞かせてほしい

問

役場前の駐車場は40年ぐらい経過している。役場に用事で来た人の駐車場が少なく困っている。当時は現状で良かったが、現在の職員の駐車場として前の河川の上、フロイデの裏を借地で確保している。役場での会合の時はまったく駐車スペースが無く困っている。

①役場前に駐車する職員は何人で、何台か。

役場周辺に荒地がある。職員の駐車場を別に確保し、役場前は一般に開放してはどうか。

②前庁舎の跡を立派な公園として残しているの、約40年前にできた役場前の円形花壇は撤去して駐車場にしてはどうか。

③駐車場確保のために費用が発生することだが、当たり前のことである。一日中、止める職員から、受益者負担として駐車料金をもらうようにしたかどうか。

総務課長

①手元に資料がないので何人役場前に駐車しているか答えられない。

イベントの時職員は農協の駐車場を借り、役場前をオープンにするようにしている。職員専用の駐車場が今以上にあればいいと思う。土地を貸す人がいれば工事等金銭的なこともあるので、今後研究して考えたい。

②花壇を取り壊せば何台かは止まると思うが、ほかの自治体に比べてそれ相当な広さであると思う。10台程度増やすために壊すのはどうかと思う。研究しながら考えていると思う。

副町長

①今すぐ周辺に確保できるところがあるかどうか具体的にわからない。

確保するとなれば費用もいる。

②町民憲章があり、ある意味庁舎の象徴的なものになっている。

無縁者の供養塔を

町営墓地へ移設しては

町長／今は考えてない

問

大奈良地区の町営墓地には、無縁者の納骨堂もつくっている。

霊山寺に建てている無縁者の供養塔を町営墓地へ移設してはどうか。

以前墓地の建設委員会でも声が出たこともあるので、納骨堂と供養塔は同じところで供養するのが良いのではないかと。

町の立場では移設の必要はないと考える。

町長

移転すると費用の関係とか、今までのいきさつがあるので、すぐどうこうする考えはない。

霊山寺にお願いして当分の間貸してほしいと思う。

町民課長

霊山寺の供養塔は昭和55年に建立したもので町内に眠る約500の無縁仏が祭られており、年一度供養をしている。

町営墓地の合祀墓は特別墓所であり供養塔とは目的が異なる。

社会福祉協議会で管理、供養されており問題なく、

教育で大切なものは何か

教育長／人格の形成

問

①民主党政権のとき、高校の授業料は無料。憲法改正しなくても高等教育の無償化はできる。

高等教育無償化を口実に憲法改正することをどう考えるか。

②全国学力テストについて、他県他校と比較すること、意味があるか。

③テストの結果を公表する目的は。

④子どもに合ったやり方で力を伸ばす教育が必要と考える。

教育で一番大切なものは何か。

教育長

①無償化で全ての子どもが、教育を受けることができ

ば大変ありがたい。

③県からは、説明責任という立場からも公表が必要だと聞いている。

④大事なものは人格の形成。

教委事務局長

②生徒の学力や学習状況が客観的に示され、教育指導の充実や学習状況等改善に役立つと考える。

町長

④平和で幸せな社会を築くことに貢献できる人を育てるのが、教育だと思う。

問

①里庄には歴史資料館があるのかわからないのか、存在は知っていても、



佐藤 耕三 議員

場所も、建物が何かも、開館日も、駐車場も分からないなど、無い条件が揃い、訪れる人がいるのが不思議。

町の喫茶店、それぞれの施設にパンフレットを置いてアピールしては。

②展示スペースの整備、音声ガイドなどを使用し、利用しやすくしては。

教委事務局長

①駐車場、建物板は努力する。

店舗などに置いてもらえるようお願いする。

教育長

②せっかくある施設。有効活用できるように一生懸命努力する

問

①イノシシなど、里庄で見かけるようになった原因と今後の予想は。

②職員に野生動物の専門家、それに準ずる人を採用することは考えないか。

③浅口市では県・国からの補助、通勤手当もあるが、里庄ではあるのか。猟友会にできるだけの支援はできないか。

④人間の住みかと獣の住みかを構築する、緩衝地の整備の考えは。

農林建設課長

①自然環境の変化等により餌場が減少したため。

今後少しずつ、出没件数、捕獲数ともに増加していくと考える。

③被害対策協議会を設置してないので国の補助、県からの駆除強化月間の補助はない。

平成29年度末の設置をめどに、現在準備を進め、検討をしている。

町長

②職員を雇ってまでやるつもりはない。

④圧倒的に増えれば考えるが、今は考えるつもりもやるつもりもない。

猟友会に出来るだけの支援を

農林建設課参事／協議会設置の準備をしている

仁科千鶴子 議員



定住促進対策等は

総務課長／協議会を立ちあげて研究し進める

問

空き家対策特別措置法が施行され、2年が経過した。

①未確認が119件、時間がかかる理由。総務課主体では、負担になっていないか。

②不適切な管理状態の空き家に、改善を促す指導はあったのか。

③29年度から国土交通省により、空き家再生等推進事業が創設されているが、町自体で古民家再生を考えているか。

定住促進対策・利用活用策の研究をどう生かすのか。

総務課長

①28年度は顧問建築士による専門家の目で確かめて空き家を確定、終了した。水道は止まっているが、1年以上たっていない、町内にいない人、亡くなられた人等、確認が難しい。29年度上半期には、確定させたい。

総務課が司令塔になり、水道課に調査、町民課に

税情報依頼をしている。

②地元から、木が伸びて隣の家や道路にかかるという苦情があり、不動産業者に管理をしてもらった。今後増えてくること

が、予想される。

当町には空き家バンク設置がないので、不動産業者に紹介、案内をしている。

生存中から空き家になった時のことを考えておきましようという、チラシがあるので配布したり、所有者に郵便等で意識づけも考えたい。

③需要と供給があるので、協議会を立ちあげて、メリット、デメリットを研究し進めていきたい。

①28年度は顧問建築士による専門家の目で確かめて空き家を確定、終了した。水道は止まっているが、1年以上たっていない、町内にいない人、亡くなられた人等、確認が難しい。29年度上半期には、確定させたい。

子育て広場に手洗い場を

健康福祉課長／早急に設置する

問

社会福祉協議会に委託された子育て広場は、ピンクの絨毯に取り換えきれいになった。多くの親子に利用され、喜んでいる姿を見ると、環境改善は大変重要である。

①利用状況と活動内容は、職員が増えた必要性は。

②子育て広場には手洗い場がない。流し台をつける改修工事をしないのか。

③病児保育ができ、広域総合利用ができるようになった。

近隣では笠岡第一病院であるが、他の病院に受診していても受け入れてくれるのか。

個人負担はあるが、一部を里庄も負担するのか。

健康福祉課長

①28年度は開設日数を増やした

こともあり2287人増、一日平均参加者数は22・9人、就園前の子どもの利用が多い。月曜から金曜まで子どもが楽しめるプログラムを実施。季節ごとの遊び・読み聞かせ・リズム体操等工夫をし

ながら毎日実施。一時預かり事業は、一日平均利用者数0・49人。職員3名を配置し、そのうち1名は保育士を配置。国の最低基準をクリアしている。

②検討している。予算のかからない方法で設計を依頼している。早急に手洗い場を設置する方向で準備している。

③生後6カ月から小学校3年生までの子どもを対象に一日利用料金2000円で

町民課長

③生後6カ月から小学校3年生までの子どもを対象に一日利用料金2000円で



いっしょにあそぼ (げんキッズ)

事前に登録申請、利用前日に電話で連絡となる。4名定員とあるが、当日利用も可能。他の病院にかかっている、医師の診断があるので、利用については先生の判断となる。

29年度予算に4万1000円計上している。利用人数によって補助基準額は変わるが、国・県・市町村が負担。その市町村負担は利用者数により按分負担となる。

みんなで楽しもう

殿迫子供会

殿迫子供会は、保育園幼稚園の年中児から小学校6年生までを対象とし、現在二十七世帯四十一人で活動しています。

春の歓送迎会や冬のクリスマス会は、縦割り班のようなチームでゲームやビンゴをしたり、おやつを食べたりします。

秋祭りでは、上学年の男子が、一か月間神輿の太鼓の練習に励みます。祭りの当日に、「わっしょい わっしょい。」と声を出しながら全員で力を合わせて練り歩くと、地域の方々が温かい声を掛けて下さるので、子供達は毎年とても楽しみにしています。

一年に一度のバス旅行は、年によって変わりますが、吉本新喜劇を観たり、みろくの里で遊んだりして、親子で楽しむ行事になっています。どの活動でも、上級生が下級生のお世話をしながら、みんなで楽しもうという雰囲気があります。同じ地域の異学年の子供達が開わり合い、よい思い出をたくさん作ってほしいと思っています。いつも活動を温かく見守り、資源回収や登校の見守りなどでご協力下さっている地域の皆様には、大変感謝しています。

これから、よろしくお願いたします。



《第89号》

平成29年7月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あきがき

今年は9月まで全国的に猛暑が続く予定のようです。特に中四国地方は、高気圧にしっかりと覆われ、平年より気温も高くなること。

十分な睡眠やこまめな塩分・水分補給に心がけて熱中症には気をつけたいものです。

さて、2年間お休みしていた議会広報編集委員会に復帰することとなりました。宜しくお願いします。

(眞野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：仁科千鶴子 委員：小野光章 委員：佐藤耕三

